

尖圭コンジローマ切除及び電気焼灼についての説明同意書

患者

様に以下の内容について説明致しました。

1. 病名と進行度

病名:尖圭コンジローマ ヒトパピローマウイルスによる感染で性行為により傷や粘膜から体内にウイルスが入り乳頭状のできものが生じてきます。

2. 症状とその原因

イミキモド(ベセルナ®)による局所治療を行いました。乳頭腫瘍が残存しています。腫瘍が大きく局所治療では完全消失が困難と思われます。

3. 検査・治療の必要性と目標

腫瘍除去のためには、切除して電気凝固あるいは凍結療法があります。目標は亀頭が非勃起時にも露出した状態となることです。

4. 検査・治療の具体的方法、施行日と治療に必要な期間 手術日: 年 月 日

局所麻酔下に腫瘍切除及び電気凝固を行います。皮下に麻酔薬を注入して、腫瘍をハサミ等で切除し、根部や周囲を電気焼灼します。手術時間は15-30分程度です。

5. 検査・治療にともなう合併症とその危険性や後遺症

手術の合併症として、出血、感染、創の突っ張り等があります。出血がある場合は、緊急で止血が必要となる場合があります。切除・焼灼しても、残存や再発することはあり得ます。傷跡、痛みはある程度さげられません。麻酔の合併症として、薬剤に対するアレルギーなどがあります。

6.術後の注意事項

- ① 術後1-2週間で外来受診していただき、腫瘍の残存がないか調べます。残存があるときは再度切除焼灼を行うこともあります。
- ② 傷のドレッシングは、術後1-2日目以降は、なしのままで大丈夫です。
- ③ 創からの出血が止まらないときや膿が出てきたときや痛みが強い時などは、早めに連絡して外来受診してください。
- ④ ウイルス感染ですので、他の部位からコンジローマが出来てくることもあり得ます。

7. 当院での検査・治療の実績

当院で二人の方に手術しましたが、特に合併症は生じていません。

8. 医療の不確実性について

多くの診療行為は身体に対する影響・侵襲(ダメージ)を伴います。ですから検査や治療はそれによって得られる利益が身体に与える不利益をしのぐと判断した場合にのみ行われます。しかし、医療は万能ではなく、常に不確実な要素を含んでいますので、誠意を持って注意深く診療行為にあたっていただいても、貴方に重大な合併症や事故が起こる可能性があります。診療行為の過程で、治療している疾患と関係のない偶発症が発生することもあります。もしそのような状況に遭遇すれば、最善を尽くして治療に当たります。

西暦 年 月 日

つじ泌尿器科クリニック

担当医(署名)

立会人(署名) 看護師

つじ泌尿器科クリニック院長殿 上記の検査・治療について説明書に基づく説明を受け、疑問点についても質問し、内容に納得しましたので、その実施に同意します。なお、検査・治療中あるいは後に緊急の処置を行う必要が生じた場合、これを受けることについても同意します。

西暦 年 月 日

患者本人署名

代理人署名

続柄()